那覇港だより

な は みなと

2014. 1 第8号

	目 次	
☆	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	☆
1	飛鳥Ⅱお・も・て・な・し レポート	1
2	那覇港管理組合議会行政視察に行って参りました!	2
3	浦添ふ頭防風柵設置工事が竣工	• • • 4
4	那覇港振興協議会、初のポートセールスを実施!	• • • 5
5	沖縄大交易会プレ交易会での取り組み	• • • 6
6	平成 24 年度決算の概要	8
7	職場紹介コーナー 〈4〉(出納室)	9
9	那覇港とぴっくす(那覇港の動き、那覇港管理組合議会の動き)	• • • 10
10	ダンスとディナーのタベ ~予約受付開始!~	• • • 11
11	那覇港写真館	• • • 12



飛鳥Ⅱ お・も・て・な・し レポート

(企画建設部企画室)

那覇港へ例年寄港いただいている日本最大の豪華客船「飛鳥Ⅱ」 今回は、様々なイベントでおもてなししました。

入 港:平成25年12月1日(日)15:00 出 港:平成25年12月2日(月)21:00

経 路:横浜-大阪-那覇-基隆-花蓮-石垣-古仁屋-大阪-横浜

乗客数:714人(ほぼ日本人)

那覇乗船人数:62人 ●入港時のセレモニー

上山中学校によるブラスバンドの演奏、ダンスの演舞などがあり、好評でした。





●船内見学会

那覇クルーズ促進協主催の見学会では、定員 100 名に対し、約 150 名の応募がありました。また、県内旅行関係者による見学会や小学生による見学会もあり、多くの方が船内を見学しました。





●物産販売

岸壁上での物産販売は多くの方がお土産などを購入し、賑わいをみせておりました。





●出港時のセレモニー

鼓衆 若太陽 (ちじんしゅう わかてぃーだ) によるエイサー演舞、花火の打ち上げ、 サーチライトによる演出などグレードの高いお見送りができました。管理組合議員の方々 や地域住民の方々等、多くのみなさまがお見送りに参加して頂きました。









那覇港管理組合議会行政視察に行って参りました!

(那覇港管理組合議会)

那覇港管理組合議会(議長:赤嶺昇)では、平成25年11月5日~11月8日の日程で、クルーズ振興をテーマに国内先進港湾を訪問する行政視察を行いました。

那覇港管理組合議会としても、行政と一丸となって那覇港のクルーズ振興を押し進める 方針でありますが、実際にクルーズの旅を体験することで、より効果的な振興策が図れる

と考え、今回は、11月6日~8日の日程でクルーズ船「飛鳥Ⅱ」に乗船するとともに、寄港地である神戸港、清水港、横浜港へと訪問し、充実した意見交換や施設視察を行いました。

さらに今回の行政視察では、神戸港振興協会とウォーターフロントの活性化についての意見交換の開催や、飛鳥 II を運航している郵船クルーズ(株)と意見交換を行い、那覇港への飛鳥II の寄港増大をお願いすることもできました。

議員の皆様から寄せられた感想を掲載します。



各議員とも、今回の視察を通してそれぞれ独自の視点から那覇港における課題を感じ取り、 クルーズ船の楽しさ、素晴らしさを体感し、多くの県民にクルーズを楽しんでもらいたい、

という感想を持ったようです。

神戸港振興協会との意見交換

又吉健太郎議員:今回の視察先では、様々な取り組みについて学ばせていただいたり、色々な景色を拝見したり、新鮮な刺激を受けました。「那覇港に当てはめたらどうなるのか」という視点でしっかり検討していきたいと思います。また、クルーズ船をただ誘致するのではなく、クルーズ船の利用者を沖縄で発掘していく努力の必要性を感じました。

下地敏男議員:クルーズ船の寄港は本県に大

きな経済効果をもたらします。若狭クルーズバースの拡張で、飛鳥Ⅱクラスのクルーズ船

の寄港が増加します。那覇市はクルーズ船の歓送 迎で、琉球の歴史・文化を移動式大型ビジョンを 活用して放映する事業も進んでおり、今回の行政 視察は、これからの「クルーズ観光」の発展を考 える有意義なものでした。

具志孝助議員:大変楽しい船旅でした。正直に 言って時間が短すぎてもったいなかった。クルー ジングは、時間を気にせずのんびり過ごすことが 大事で、毎日時間に追われている我々には最高の



オアシスでした。このような機会を得られたことに感謝したい。



狩俣信子議員:飛鳥Ⅱは、さすが5万トン級の船だけあって、あまり揺れを感じませんでした。800人余の乗客をアジア系のスタッフの皆さんがにこやかに迎えてくれました。船内にはショッピング店や喫茶室、ダンスホールなどがあり、船の甲板ではウォーキングする人々が楽しんでいました。特に夕食はグループ全員でテーブルを囲み楽しく語り合うことができ、旅の醍醐味を味わうことができました。感謝。

桑江豊議員:2泊3日の飛鳥Ⅲ乗船でクルーズの素晴らしさを体験することができました。 また、神戸港では大量入管手続きのスムーズ化を、清水港では多くの市民がクルーズを体 験する取り組みを、横浜港では旅客ターミナルの活用等を学ばせていただきました。今後

の那覇港活性化に活かして参りたいと思 います。

糸洲朝則議員:船の設備や航行は快適で、 食事も美味しく満足できました。また、潮 風を浴びながら、デッキでのウォーキング やショータイムも楽しく快適でした。今回 は議会の仲間と一緒で、有意義な時間を楽 しく過ごすことができました。

宮里弘和議員:クルーズ船の乗客は60才



を越えたシニア層が大半で、朝食時に同席した年配婦人の皆さんはご主人のことや病気と健康管理の話題に笑顔で盛り上がっていました。神戸港や横浜港の場合、港背後に数百万の人口を有し、鉄軌道と道路網や港湾施設も整い、クルーズ旅行のニーズを体感することができました。

西銘純恵議員:郵船クルーズ(株)運輸部の村山部長代理と意見交換をしました。飛鳥 II を那覇港に寄港させる条件を聞いたら、1 にイベント、2 に観光資源、3 に集客でした。



沖縄観光客の圧倒的な声は、サンゴの広が る青い海です。埋立は逆行です。

知念博議員:沖縄の伝統や文化・芸能・自然はクルーズ客にとって大変魅力ある観光資源になると確信しました。H26年は過去最高の寄港が見込まれており、県民の歓迎体制の確立と、楽しくショッピングや食事ができるように外国語への対応能力の向上と多様な観光の企画立案は県民に課せられた課題です。

浦添ふ頭 防風柵設置工事が竣工

(企画建設部建設課)

○防風柵 設置の背景

浦添ふ頭の2号上屋周辺において高さ8.5m、 総延長453mの防風柵設置工事が竣工しました。

浦添ふ頭は那覇港の中で最も北側に位置し、冬季において海からの季節風が非常に強く吹きつけるため、船の荷役作業や作業員の就労環境に支障をきたす懸念があります。そこで、防風柵を設置することにより安全かつ効率よく作業できるものと考えています。



○防風柵の特長

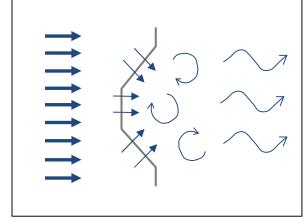


有孔折板 (遮蔽率 60%)

防風柵は主に風を受ける有孔折板、H鋼からなる主柱、それらを支える基礎コンクリートからできています。ここでは特に有孔折板についてご説明します。

「有孔折板」とは読んで字の如く孔が開いており、 折曲がった板になっています。右図のように、この 有孔折板に風が当たると気流が変わり、お互いに干 渉しあうため風の力が弱まる構造になっています。 また海岸付近は鋼構造物にとって大変過酷な場所で す。塩害による腐食が進みやすく、耐久性に問題が 生じやすくなります。

特に今回の防風柵を設置した場所は波しぶきがあり、如何に腐食を防ぐかが問題でした。そこで今回設置した防風柵には特別な防錆処理を施しています。 一般的な防錆処理として溶融亜鉛メッキを鉄板の表面に塗布しますが、今回は溶融亜鉛メッキよりも耐食



風の流れ イメージ図

性の高い SG メッキを施しています。SG メッキは亜鉛にアルミニウムとマグネシウムを混ぜ合わせており、溶融亜鉛メッキより約 10 倍も高い耐食性を持ちます。また、防風柵が傷つき、メッキが剥がれたとしても鉄より亜鉛のほうが先に溶けだし、原板である鉄を保護します。以上の効果により長期的に安全な作業が可能となるでしょう。

那覇港振興協議会、初のポート・セールスを実施!

(総務部総務課)

那覇港振興協議会(会長:山城博美〈琉球海運(株)代表取締役社長〉)が平成25年度 事業計画で実施を計画していた港湾ポート・セールスを、平成25年10月25日に台 湾高雄市で行いました。参加メンバーは、会員企業の琉球海運(株)から山城社長、 平良船長、古見外航課係長、(株)那覇タグサービスから来間社長の総勢5人でした。

日程の関係で訪問企業は、台湾日通高雄支店の1社になりましたが、台湾日通高 雄支店側からは杉山台湾日通董事長兼總経理、吉田支店長、彭支店営業課長に対応 して頂き、沖縄・台湾間の物流の増大に向け活発な意見交換がなされ、今後は両者が



連携して行くことを確認しました。また、那覇港振興協議会側から、

平成 26 年 5 月には「九州ー沖縄ー高雄」間の台湾航路が琉球海運(株)によって開設されることを報告し、貨物の集出荷への協力をお願いしたところ、台湾日通側から「協力していきたい」との快い返事を頂きました。なお、今回のポート・セールスは、那覇港管理組合との協同事業で今後の展開が期待されるところです。



沖縄大交易会プレ交易会での取り組み

(企画建設部企画室)

去る 11 月 14 日 (木) から 15 日 (金) の 2 日間、沖縄コンベンションセンターにおいて沖縄大交易会プレ交易会(以下、「大交易会」という。) が開催されました。

大交易会は、海外販路開拓・拡大を支援するために開催され、県内外サプライヤー(県内 70 社、 県外 61 社の合計 131 社)と国内外バイヤー(海外 16 カ国・地域から 79 社、国内 23 社の合計 102 社) が参加する日本最大規模の個別商談会となりました。

商談会会場の102 席は、個別商談20回(商談時間25分)の間、常に満席状態であり、活発な商談が行われ、来年度に開催される本番は更に参加企業が多くなるのではないかと期待されています。

那覇港管理組合は、国外のバイヤーとの商談を進めるうえでの物流などの相談を受けるサポート役として、また、那覇港管理組合の取り組みをピーアールするため大交易会に出展しました。



商談会の状況

那覇港管理組合のサポーターブース(以下、「ブース」という。)では、現在、那覇港管理組合で取り組んでいる那覇港輸出貨物増大促進事業(香港直行航路開設・維持に向けた社会実験及び輸出貨物増大に向けた社会実験)、那覇港総合物流センター整備、ガントリークレーン整備、リーファー電源整備などの物流関係資料の展示・配付だけでなく、クルーズやみなとまちづくり関係資料についても展示・配付しました。

残念ながら商談会会場での相談はありませんでしたが、サプライヤーや国、県、ジェトロ沖縄などの多くの関係者がブースに訪問して頂いており、那覇港管理組合の取り組みを説明し那覇港利用への協力を依頼しました。

また、サプライヤーの展示ブースにおいても那覇港管理組合の取り組みを説明し那覇港利用への協力を依頼しました。

ブース訪問者は、物流関係だけでなく、クルーズやみなと まちづくりに関心を示した方も多く、那覇港管理組合の取り 組みをピーアールできたものと考えています。



那覇港管理組合サポーターブースでの説明状況

最後に、島しょ県である沖縄県における国内外との貨物輸送は海上輸送及び航空輸送に限られている中で、那覇港の占める割合は対那覇空港取扱貨物量比で97%となっており、那覇港で沖縄県の貨物量の大部分の取扱いを担っています。

そのようなことから、県内サプライヤーなどが国内外に貨物を輸送するに当たり、那覇港の役割は 大きいものと考えています。

今後も那覇港管理組合の取り組みを積極的にピーアールし、県内サプライヤーなどによる海外展開や輸出拡大促進を支援のための施設整備、施策を実施するなど沖縄県の自立経済構築に資する那覇港の国際流通港湾としての機能強化を図っていきます。

平成24年度決算の概要

(出納室)

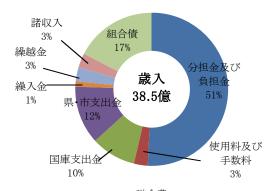
一般会計

一般会計の決算額は、歳入総額38億5,346万4千円、歳出総額37億598万2千円となっており、前年度と比較すると歳入については1億7,459万4千円(4.7%)の増、歳出については1億4,373万8千円(4.0%)の増となっています。

歳入

(金額:千円)

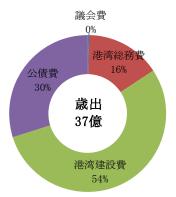
	H244	H23年度			
歳入区分	予算額	決算額	決算額		
分担金及び負担金	1,959,764	1,959,764	1,971,048		
使用料及び手数料	112,486	111,840	110,524		
国庫支出金	649,157	363,976	809,922		
県·市支出金	1,504,386	475,238	664		
財産収入	1	66	168		
繰入金	43,580	43,580	126,544		
繰越金	116,626	116,626	96,207		
諸収入	148,765	115,574	21,493		
組合債	1,061,500	666,800	542,300		
歳入計	5,596,265	3,853,464	3,678,870		



歳出

(金額:千円)

	H24 ²	H23年度	
歳出区分	予算額	決算額	決算額
議会費	9,644	9,614	7,837
港湾総務費	619,215	576,272	675,123
港湾建設費	3,814,764	2,013,802	1,719,440
公債費	1,117,303	1,106,294	1,159,844
予備費	35,339	0	0
歳出計	5,596,265	3,705,982	3,562,244



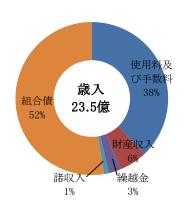
特別会計

特別会計の決算額は、歳入総額23億4,768万5千円、歳出総額22億4,985万6千円となっており、前年度と比較すると、歳入については5億4,733万8千円(30.4%)の増、歳出については5億994万4千円(29.3%)の増となっています。

歳入

(金額:千円)

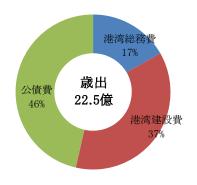
			(<u></u>
	H243	H23年度	
歳入区分	予算額	決算額	決算額
使用料及び手数料	855,389	890,087	862,216
財産収入	137,714	139,476	132,376
繰入金	0	0	3,000
繰越金	60,435	60,434	20,840
諸収入	21,817	23,688	25,015
組合債	1,544,100	1,234,000	756,900
歳入計	2,619,455	2,347,685	1,800,347



歳出

(金額:千円)

	H243	H23年度	
歳出区分	予算額	決算額	決算額
港湾総務費	490,394	375,040	299,170
港湾建設費	1,056,013	830,184	284,862
公債費	1,063,014	1,044,632	1,155,880
予備費	10,034	0	0
歳出計	2,619,455	2,249,856	1,739,912



実質収支の状況

一般会計

一般会計における歳入歳出差引額は1億4,748万2千円であり、このうちH25年度への繰越分を差し引いた実質収支額は8,853万5千円となりました。

(金額:千円)

区分	H24年度	H23年度	増減額	増減率
歳入決算額 A	3,853,464	3,678,870	174,594	4.7%
歳出決算額 B	3,705,982	3,562,244	143,738	4.0%
歳入歳出差引額 C	147,482	116,626	30,856	26.5%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	58,947	75,696	△ 16,749	△22.1%
実質収支額	88,535	40,930	47,605	116.3%

特別会計

特別会計における歳入歳出差引額は9,782万9千円であり、このうちH25年度への繰越分を差し引いた実質収支額は9,742万8千円となりました。

(金額:千円)

区分	H24年度	H23年度	増減額	増減率
歳入決算額 A	2,347,685	1,800,347	547,338	30.4%
歳出決算額 B	2,249,856	1,739,912	509,944	29.3%
歳入歳出差引額 C	97,829	60,435	37,394	61.9%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	401	100	301	301.0%
実質収支額	97,428	60,335	37,093	61.5%

職場紹介コーナー<4>

(出納室)

出納室は、会計管理者が執り行うとされている会計事務を補助する組織です。 会計管理者兼出納室長、主査2名の計3名で業務を行っています。

主な業務として

- 〇 現金の出納に関すること
- 〇 現金及び財産の記録管理に関すること
- 決算の調製に関すること
- 支出負担行為の確認及び収入、支出その他の命令書等 の審査に関すること
- 〇 指定金融機関等に関すること

などがあります。



少ない職員数ながら、日々の支払、収納事務、決算、調書等の審査、資金運用、金融機関の検査など県や市町村の行う一連の出納事務は全て取り扱っていますので、正確な事務処理ができるよう、母体のやり方も参考にしながら、日々業務を行っています。現金については、毎日その収支を把握するとともに、毎月監査委員による例月現金出納検査を受け、公金の適正な執行、保管に努めています。

那覇港とぴっくす



飛鳥Ⅱ船内にて意見交換会を開催

12月2日(月)

- 那覇港に停泊中の飛鳥Ⅱ船内において、那覇港管理組合議会と郵船クルーズ(株)の運輸部のチーム長及び、同社営業企画部のグループリーダーとの意見交換会を開催しました。
- •飛鳥Ⅱが今後も引き続き那覇港へ寄港し、また、より多く寄港してもらう ためにはどのような取り組みが必要なのか、等について意見交換を行 いました。
- •郵船クルーズ(株)からは、ボーディングブリッジやクルーズバース等の施設整備のほか、ツアー企画等についての意見交換、具体的な提案をいただくことができました。



ウクレレピクニック2013inNAHAcity

12月15日(日)

ホノルル市と姉妹都市提携している那覇市の波の上うみそら公園で、ウクレレ・フラと、三線・琉球太鼓等の沖縄伝統文化とのコラボレーションイベントとして開催されました。当日はあいにくの曇り空で、肌寒く感じましたが、ステージでは多数の愛好者達によるフラダンスや、エレキギターのように華麗なウクレレ演奏なども行われ、会場も熱気を帯びていました。



海のポスト投函式オープニングセレモニー

12月21日(土)

波の上ビーチのダイビング・シュノーケリングビーチに、「海のポスト」「海底(海中)ポスト」の2台が設置され、オープニングイベントとして初投函式が開催されました。主催者によると、投函には専用のはがきが必要で、ハガキを購入すると、その購入費の一部が波の上うみそら公園のダイビング・シュノーケリングビーチの環境保全に使われるそうです。



那覇港管理組合 今後の主な予定

- 〇那覇港振興協議会新年祝賀 名刺交換会(1月8日)
- 〇那覇港利用促進協議会 (1月22日)
- 〇那覇港管理組合2月定例会 (2月上旬)
- ○ディナーとダンスのタベ (4月17日)

~那覇港管理組合議会のうごき~ 特別委員会の開催(10/22)

〇那覇港湾調査研究特別委員会を開催し、浦添地 区公有水面埋立事業に向けた環境影響評価調査 について、調査・審議を行いました。

行政視察の実施(11/5~8)

- 〇国内先進港湾である横浜港、神戸港、清水港に、 全10人の組合議員が行政視察を行いました
- 11月定例会の開催(11/20~11/22)
- 下記の議案が可決・認定されました。
- 〇議案第1号:

那覇港管理組合収入金の督促及び滞納処分等に 関する条例の一部を改正する条例

〇議案第2号:

平成25年度那覇港管理組合一般会計補正予算 (第3号)

○議案第3号:

平成24年度那覇港管理組合一般会計歳入歳出 決算書の認定について

〇議案第4号:

平成24年度那覇港管理組合特別会計歳入歳出 決算書の認定について

好評につき、第2回開催予定

豪華クルーズ船「ぱしふぃっくびいなす」で楽しむ

ディナーとダンスの多べ

船内見学会(希望者)・オリジナルグッズが当たるお楽しみ抽選会 付き

いつかは体験したい豪華客船の旅、そこでの社交ダンスデビューを夢見たことはありませんか。今回もクルーズ船社のご協力により、お手軽な料金で、コースディナーとダンスを楽しめることになりました。

● 日時:2014年4月17日(木)

(夕方5時半から船内見学会、6時半~ ディナー&ダンス、9時半下船予定)

- 場所: ぱしふぃっくびいなす(26,594トン、船客定員620名) 船内 (若狭クルーズ船バースに停泊)
- 食事:メインダイニングルーム(7F)にてコースディナー
- ダンス:メインラウンジ(7F)にてダンス(生バンド予定)
- 料金:大人(中学生以上)12,000円 小人(2歳以上、小学生以下)9,000円
- 定員:120名(チケット事前購入が必要、定員になり次第終了)

★ 1月6日(月)~予約受付開始! (下記問合先まで)

申込に当たり乗船者名簿作成のため、氏名、性別、年齢、連絡先(Tel)、ダンス歴、船内見学希望の有無をお知らせ下さい。

チケット販売は2月3日(月)~3月31日(月)を予定しております。料金のお支払方法は下記からお選び下さい。

- 1. 那覇市文化協会の役員へ直接支払い
- 2. 那覇港管理組合へ直接支払い
- 3. 銀行振り込み ※振り込み手数料は、振り込み者の負担となります。

琉球銀行与儀支店 店番号304 口座番号134390

口座名 那覇市文化協会 社交ダンス部会 会計 大城英子(オオシロエイコ)

主催那覇港管理組合、那覇市文化協会社交ダンス部会

後 援(予定)沖縄観光コンベンションビューロー、那覇市観光協会、那覇クルーズ促進協議会 那覇シーパラダイス協議会、全国クルーズ活性化会議

問合先 那覇港管理組合企画室(金城・重久) 電話 : 098-868-4544

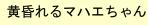
Fax: 098-862-4233

※ご予約申込人数が最少催行人数に満たない場合には、開催を中止する事もありえますので、その際はご了承下さい。



🥯 那覇港写真館









****那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先***

那覇港管理組合総務部総務課(担当:福原)

〒900-0035 那覇市通堂町2番1号

TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp